

【事例発表】

団体名：静岡県ベトナム人協会

＜団体紹介＞

静岡県ベトナム人協会は、主に静岡県西部に暮らす在日ベトナム人のためのコミュニティとして1986年に設立しました。1980年代に、インドシナから日本に上陸したボートピープルと呼ばれるベトナム難民の生活を支援する団体として活動を始めました。

現在は、難民や難民の家族だけでなく、増加している技術研修生、留学生などに対しても、支援活動を行っています。

静岡県ベトナム人協会として、主に3つの活動を行っています。

- (1) 在日ベトナム人に対する相談や世話
- (2) 在日ベトナム人同士あるいは、地域住民（ベトナム以外の外国人を含む）との交流事業



ベトナム人協会総会



ベトナム民族舞踊

- (3) 在日ベトナム人に対する、教育・学習活動



生活者のための日本語講座



子どもの学習支援

【連絡先】



カトリック三方原教会での写真

浜松市北区三方原町 2221-5 カトリック三方原教会内      Facebook: 静岡県ベトナム人協会  
TEL 090-6599-0129 (会長：山田)      メール:mnisizaki@ybb.ne.jp(コーディネーター：西崎)

事業実施概要

事業名称	「在日ベトナム人生活者のための日本語教育推進事業」
地域の課題	静岡県浜松市には、在日外国人が多数在住している(人口81万に対して約2万人)が、在日ベトナム人は約1,500人と人口の比率が少なく、地域住民に十分理解されているとは言えない状況が続いている。
事業の目的	① 在日ベトナム人が、日常生活を営む上で必要な日本語の教育を実施する。 ② 在日ベトナム人に対して日本語を教える事ができる人材を育成する。 ③ 在日ベトナム人が、日本語等を習得するためのテキストを作成する。
事業の概要	<b>日本語教育の実施</b> 名称：在日ベトナム人生活者のための日本語教室 目的：自分の希望する「日本語を用いたコミュニケーション」のレベルに達すること 対象：成人した在日ベトナム人を中心とするが、国籍、年齢は問わない。 人数：31人（主な出身・国籍：ベトナム） 時間：週1回×2時間（全30回）、日本人教師とバイリンガル教師がペアで指導 内容：入門、初級、中級と3段階のレベルに分け、日本人教師とバイリンガル教師が新規に作成した生活に関する題材を扱ったオリジナルのプリントを使用して学習
	<b>日本語教育を行う人材の養成・研修の実施</b> 名称：『生活者としての外国人』に対する日本語教師のための講座 目的：日頃行っている日本語の指導に対する疑問や理解できない点、悩みを解決する。 対象：日本語教師、バイリンガル教師、地域日本語コーディネーターを対象 時間：週1回×3時間（全4回） 人数：8人（出身・国籍：日本） 内容：1. 生活者のための日本語教育の歴史（西原鈴子先生、岩見宮子先生） 2. 生活者のための日本語教育で文法をどのように扱うのか（袴田麻里先生）
	<b>日本語教育のための学習教材の作成</b> 名称：浜松くらしの中の日本語4（ベトナム語版） 目的：在日ベトナム人を対象とした生活者のための日本語教材の作成 対象：在日ベトナム人で、日本語が中級レベルの受講者 構成：全15課 総ページ数：74ページ 使い方：様々な場面での使い方が考えられる。 （例）仕事で上司に向かって話す場面。（第12課 敬語で話す）
	<b>成果と課題</b> 成果：アンケート結果から満足できる「日本語教育」「日本語教師のための講座」であったとの評価だった。 課題：参加人数の減少、欠席理由を調査して対策を実施したが、今年度も同様に推移。
発表者から一言	日本人教師とバイリンガル教師がペアで指導している日本語教育活動のポスターセッションを実際に見ていただき、皆様のご意見、ご感想をぜひお聞かせください。 発表者：静岡県ベトナム人協会 コーディネーター 西崎 稔 mnisizaki@ybb.ne.jp